

高校世界史プリント（過去問類似）

古代（諸地域世界の形成） No.9

名前

得点

/11

問1 17世紀初頭に琉球王国へ侵攻してこれを支配下に置いたが、中国との朝貢貿易による利益を得るために、琉球と明・清との朝貢関係を継続させた日本の大名家は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 上杉氏 2. 武田氏 3. 毛利氏 4. 島津氏

問2 前漢の全盛期を築いたある皇帝は、儒学を官学化するとともに、地方長官が管内の優秀な人材を中央に推薦する「郷挙里選」を導入した。また、対外的には匈奴を討伐し、塩・鉄・酒の専売などの財政再建策を行った。この皇帝は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 景帝 2. 高祖 3. 武帝 4. 文帝

問3 イギリスの考古学者によって発掘され、壮大な宮殿跡や複雑な構造からギリシア神話の迷宮（ラビリンス）の伝説の起源になったとされる、エーゲ海南部の島に位置する代表的な遺跡は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. ミケーネ 2. トロイア 3. クノッソス 4. ティリンス

問4 中国の春秋戦国時代において、諸侯が富国強兵を競う中で、儒家や法家などの多様な思想家たちが現れて自説を売り込んだ。この背景となった、農業生産力を飛躍的に向上させ、社会構造の変動をもたらした技術的要因として最も適当なものは何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 灌漑施設の整備 2. 鉄製農具の使用 3. 牛耕農業の導入 4. 牛耕技術の普及

問5 ペルシア戦争において、サラミスの海戦などで無産市民が三段櫂船の漕ぎ手として活躍したことで民主政が急速に進展し、戦後はデロス同盟の盟主としてエーゲ海の諸ポリスに圧力を加え、「帝国」とも評される支配体制を築いたポリスはどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. メガラ 2. アテネ 3. サモス 4. テーベ

問6 秦の始皇帝が中国を統一した際、周代の統治制度が諸侯の争乱を招いたと批判し、全国を郡と県に分けて中央から官吏を派遣する制度の全土への導入を建言した、法家出身の客卿（のちの丞相）は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 張良 2. 商鞅 3. 蕭何 4. 李斯

問7 ローマ帝国において、3世紀末から4世紀初頭にかけてキリスト教徒に対する大迫害を行った皇帝がいた一方で、のちにキリスト教は帝国の国教へと位置づけが高められた。このうち、392年にキリスト教を国教とし、伝統的な多神教の信仰を禁止したローマ皇帝は誰か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. ティベリウス帝 2. テオドシウス帝 3. アントニヌス帝 4. ハドリアヌス帝

問8 共和政末期から帝政初期のローマにおいて、征服戦争によって獲得された大量の被征服民を労働力として使役し、果樹栽培や牧畜などを行った大土地所有制を何と呼ぶか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ラティフンディア 2. アゲル・プブリクス 3. コロナートゥス 4. ラティフンディウム

問9 中国を統一した西晋において、一族の諸王に兵権を授けて各地に封じたことが一因となり、初代皇帝の死後に皇族間で発生した大規模な内乱は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 黄巾の乱 2. 黄巢の乱 3. 安史の乱 4. 八王の乱

問10 2世紀末にインドシナ半島東部のヴェトナム中部にチャム人が建国した国家で、中国の史料では「林邑」や「占城」などと記され、インド文化を受容しつつ海上交易の要衝として繁栄した国は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. ランサーン 2. トウンルー 3. スコータイ 4. チャンパー

問11 プトレマイオス朝エジプトの女王と結んだライバルをアクティウムの海戦で破って地中海世界を統一し、紀元前27年に元老院から「尊厳者」を意味する称号を授けられて事実上の帝政を開始した人物は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. レピドゥス 2. オクタヴィアヌス 3. アントニウス 4. ポンペイウス

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 4 島津氏	1609年、薩摩藩の島津氏は琉球王国に侵攻して支配下に置いた。しかし、島津氏は琉球が中国（明や清）と行っていた朝貢貿易の利益を吸収するため、琉球の独立国としての体裁を保たせ、中国への朝貢を継続させた。
問2	答え 3 武帝	前漢の第7代皇帝であるこの人物は、積極的な外征による財政難を解決するため、塩・鉄・酒の専売や均輸・平準法を実施した。また、董仲舒の提案を受け入れて儒学を官学化し、官吏任用制度として郷挙里選を導入するなど、中央集権体制の確立に努めた。
問3	答え 3 クノッソス	クレタ島北部に位置するこの遺跡は、クレタ文明（ミノア文明）の中心地であった。1900年からイギリスのエヴァンズによって発掘され、多くの部屋が複雑に入り組んだ大宮殿の跡が発見された。この複雑な構造が、怪物ミノタウロスを閉じ込めた迷宮伝説の背景になったと考えられている。
問4	答え 2 鉄製農具の使用	春秋戦国時代には、青銅器に代わって鉄製農具が普及し、あわせて牛耕が開始されたことで、農業生産力が飛躍的に向上した。これにより従来の共同体的な絆が緩み、個々の家族による農業経営が可能になるとともに、諸侯による富国強兵策を支える経済的基盤が形成され、諸子百家と呼ばれる思想家たちが活躍する背景となった。
問5	答え 2 アテネ	ペルシア戦争のサラミスの海戦において、重装歩兵としての兵役を担えなかった無産市民が三段槳船の漕ぎ手として貢献した。これにより彼らの政治的発言権が高まり、徹底した民主政へと移行した。戦後、このポリスはデロス同盟の資金や軍事を背景に他のポリスを従属させ、エーゲ海一帯に強力な支配権を確立した。
問6	答え 4 李斯	周の文王や武王が一族や功臣に封土を分け与えて諸侯とした結果、後に互いに疎遠となって攻撃し合い、周王が制御できなくなったことを戦乱の原因として挙げ、郡県制の導入を始皇帝に建言した。始皇帝はこの建言を容れ、全国を36の郡に分け、それぞれに守・尉・監を置いて中央集権化を進めた。
問7	答え 2 テオドシウス帝	ローマ帝国において、3世紀末に即位したディオクレティアヌス帝は皇帝崇拝を強制してキリスト教徒を大迫害した。しかし、その後キリスト教の勢力は拡大し続け、313年のコンスタンティヌス帝によるミラノ勅令での公認を経て、4世紀末にこの皇帝によって国教化され、異教の信仰が禁止された。
問8	答え 1 ラティフンディア	共和政末期のローマでは、度重なる征服戦争によって大量の奴隷が流入した。これらを安価な労働力として使役し、オリーブやブドウなどの果樹栽培や牧畜を行った大土地所有制をラティフンディアと呼ぶ。これは中小農民の没落を招き、社会不安の一因となった。
問9	答え 4 八王の乱	西晋の初代皇帝は、魏が皇族を優遇しなかったために孤立して滅びたと考え、自らの一族を諸王に封じて兵権を与えた。しかし、これが裏目に出て、彼の死後に帝位継承や主導権をめぐる皇族間の激しい内乱へと発展した。この混乱は五胡の侵入を招く契機となった。
問10	答え 4 チャンパー	2世紀末、ヴェトナム中部にチャム人が建国した国家は、中国史料において「林邑」「環王」「占城」などと表記された。インド文化の影響を強く受け、ヒンドゥー教や仏教が信仰された。また、南シナ海の海上交易ルートを支配し、中国やインド、西アジアを結ぶ中継貿易で繁栄した。
問11	答え 2 オクタヴィアヌス	カエサルの子であった人物は、第2回三頭政治の一角として台頭し、アントニウスとクレオパトラの連合軍をアクティウムの海戦で破った。その後、紀元前27年に元老院からアウグストゥスの称号を授与され、プリンケプス（市民の第一人者）として元首政（プリンキパトゥス）を開始した。